

令和3年度小松市立能美小学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	一人ひとりに安心感を与え、豊かなつながりを生み出す生徒指導		
	1 生徒指導主事による校内研修を行う。 (①毎月の職員会議②明確なテーマを設けた共通理解・実践③生徒指導主事) 2 いじめアンケートの実施・検証を行い、職員で共有する。 (①学期に1回②アンケートの集計、いじめアンケートの会の開催③生徒指導主事及び全職員) 3 縦のつながりを意識した児童会活動をする。 (①6月、1月②全校集会(能美っ子集会)等の活動③児童会担当) 4 職員室の話しやすい雰囲気をつくる。 (①年間②悩みを抱え込まない声かけ③生徒指導主事及び全職員)		
特別支援教育	保護者・学校・関係機関が連携し、個に応じた指導・支援の充実		
	1 「個別支援の会」を設け、支援が必要な児童への支援方法を話し合う。学期末や年度末には、支援策の検証を行う。 (①年度初めと学期末②ブロックごとの話し合い②全職員) 2 特別支援コーディネーターによる校内研修を行う。 (①年1回②校内の課題を反映した内容③コーディネーター) 3 支援員の適切な配置を提案する。 (①年間②定期的な見直し③コーディネーター) 4 ニーズに応じた教育相談やケース会を実施する。 (①年間②保護者・担任の要請を受けて③教育相談担当)		
道徳教育	授業力の向上と評価についての共有		
	1 板書交流や授業交流で授業改善の機会を設ける。 (①板書交流：月に1度 授業交流：10月 ②板書掲示や授業参観 ③担任) 2 評価に関する共有を行う。 (①年3回程度 ②通知表・要録の書き方を職員会議で③道徳推進教師)		
キャリア教育	夢や目標をもって努力し、意欲的に学び続ける児童の育成		
	1 児童の興味関心に基づき自主的に学ぶ力をつける。 (①年間 ②授業の工夫や調べ学習・自主学習の指導など③全職員) 2 キャリアパスポートを活用し、自身の変容・成長をふり返る。 (①学期に1回 ②ふり返り活動の実施 ③担任・児童)		
(保健教育)	自分の健康に関心を持ち、健康行動を実践できる児童の育成		
	1 視力検査の結果や保健指導を通し、自分の健康に関心を持つ。 (①視力検査やミニ指導②学期はじめ③養護教諭・担任) 2 目の健康のために姿勢・タブレット使用時の注意、照明環境を意識した生活ができる。 (①年3回程度②児童保健委員会や学校保健委員会の取組③担任・養護教諭)		
(給食教育)	自分の食生活を見直し、改善しようとする児童の育成		
	1 年間計画・月目標にそった食に関する指導、給食指導を実施する。 (①年間②年間計画にそった指導③栄養教諭・担任) 2 全校児童が正しいマナーで食事ができるようになる。 (①10月②食事のマナーアップ週間の取組③栄養教諭・担任)		
体育教育	体育の授業等での体力向上を目指した取り組み		
	1 全校児童が、学年目標クリア(鉄棒・水泳・持久走・縄跳び)にチャレンジする。 (①6月・7月・10月・1月 ②50%以上を目指す③体育指導教員) 2 スポチャレいしかわに、全学年が取り組む。 (①12月②取り組み月間の設定③体育指導教員)		

学校関係者評価	
---------	--